

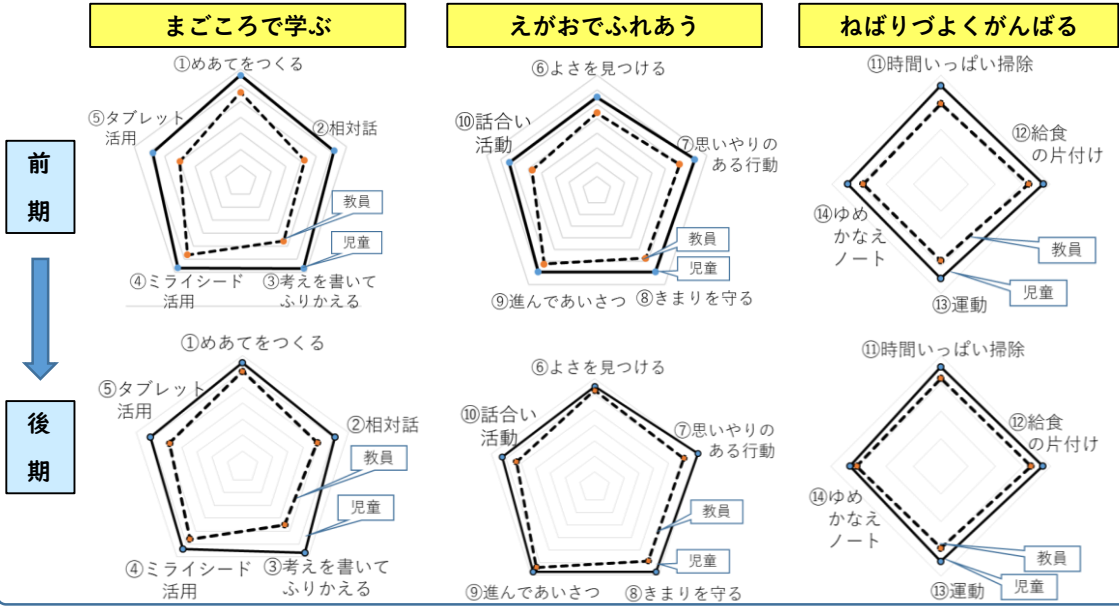


糸島市立前原小学校 令和5年度 後期学校自己評価のお知らせ (ダイジェスト版)

令和6年2月16日

これは、12月に行った「学校自己評価」結果(ダイジェスト版)です。学校自己評価とは、教職員自身が、学校教育目標の達成状況や教育活動の実施状況を評価するものです。その際、評価の客観性を増すために、「児童アンケート」や「保護者アンケート」の結果も参考にします。これらの評価の結果をふまえて、学校改善に向けた今後の教育活動を進めていきます。
※詳細な評価結果は、ホームページに公開しますので、併せて御覧ください。

1 児童評価と教員評価の結果



	児童評価平均	教員評価平均
前期	3.37	2.71
後期	3.33	2.89
変容	↓ 0.04	↑ 0.18

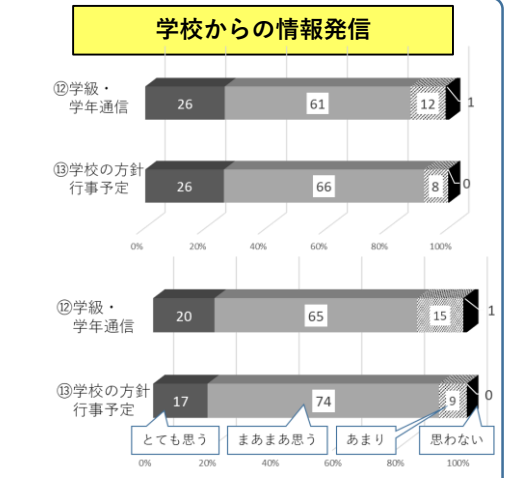
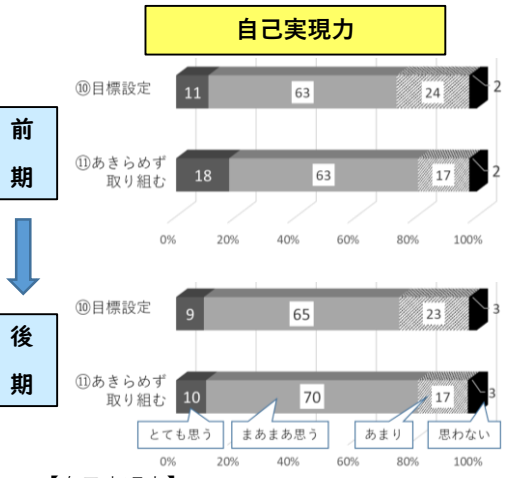
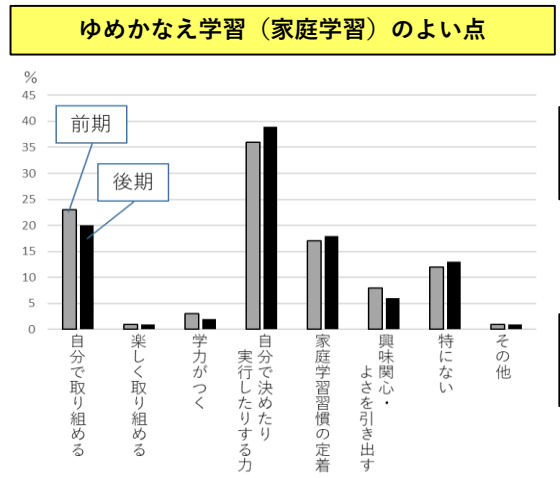
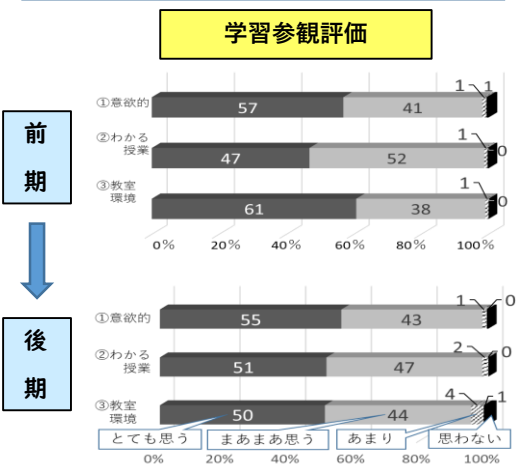
【全体】
・児童評価の平均は下がり、教員評価の平均は上がりました。教員は多くの項目で児童の成長を感じているものの、児童は自身の成長を十分に感じることができていないことがわかります。児童に「できるようになった」「がんばってよかった」と成長の充実感を味わわせる評価の充実が必要です。

【まごころで学ぶ子ども】
・②「相対話」については、教員の評価は上がりました。これは授業改善の成果です。児童にも充実感を味わえるよう指導の工夫を進めていきます。
・⑤「タブレットの活用(協働的な学び)」の評価が上がりました。一方④「ミライシードの活用(個別最適な学び)」は、児童の評価が下がっています。両方の活用を充実していく必要があります。

【えがおでふれあう子ども】
・⑥「友達のよさを見つける」は、児童も教員も高く評価しています。今後も支持的な風土を醸成していきます。
・⑩「話し合い活動」については、教員は評価が高くなったのに対して児童は若干低くなりました。集団を見つめさせる議題の選定や個々に意見を述べる手立てを講じて、児童に話し合いの有用感を感じさせる工夫が必要です。

【ねばりづよくがんばる子ども】
・⑬「運動」については、児童も教員も評価が高かったです。大縄や縄跳び検定などの取組に多くの児童が積極的に参加し、運動に親しみました。
・⑭「ゆめかなえノート」は、児童の評価が低くなりました。目標設定に一貫性を持たせる手立てが十分ではなかったためと考えます。

2 保護者評価の結果



【授業参観について】
・②「わかる授業」は評価が高くなりました。「相対話」により全員が主体的に学習内容を理解する授業づくりを行っていることも要因と考えます。
・③「教室環境」は評価が下がりました。児童が安心して学校生活を送ることができるよう、学校全体で意識を高めて整えていきます。

【ゆめかなえ学習について】
・「自分で決めたり実行できたりする」ことによさを感じてくださる方が多かったです。「学力がつく」が低いことは、前期に引き続き課題です。授業のふり返りやタブレットでの個別課題に取り組む学習を「ゆめかなえ学習」につなぎ、学力向上を図ります。

【自己実現力】
・⑩「目標設定」に比べ、⑪「あきらめず取り組む」の評価が高かったです。このことから、保護者の皆様は児童が目標に向かってがんばっていることを、励まし、評価して下さっていることがわかりました。
・目標の設定については課題を感じています。来年度は4月の目標設定の指導を工夫します。

【情報発信】
・学校からの情報については、評価が低くなりました。自由記述では、電子でのお知らせへの御要望がありました。来年度、電子メールシステムが変更されます(糸島市内小中学校)。次の電子メールシステムで実施できるかどうか確かめ、検討を進めます。